

事前に備えるべき目標及びリスクシナリオ

事前に備えるべき目標		No.	リスクシナリオ
1	人命の保護が最大限図られること	1-1	建物等の複合的・大規模倒壊や、住宅密集地における火災による死傷者の発生
		1-2	異常気象等による広域かつ長期的な住宅地等の浸水
		1-3	大規模な土砂災害による多数の死傷者の発生
		1-4	情報伝達の不備等により、避難行動の遅れによる多数の死傷者の発生
2	救助、救急、医療活動等が迅速に行われること（それがなされない場合の必要な対応を含む）	2-1	被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止
		2-2	消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足
		2-3	救助・救急、医療活動のためのエネルギー供給の長期途絶、医療施設及び関係者の絶対的不足、支援ルートの途絶による医療機能の麻痺、重篤者の搬送支障
		2-4	想定を超える大量かつ長期の帰宅困難者への飲料水・食料等の供給不足
		2-5	被災地における感染症等の大規模発生
3	必要不可欠な行政機能を確保すること	3-1	町職員・施設等の被災による機能の大幅低下
4	必要不可欠な情報通信機能を確保すること	4-1	電力供給停止等による情報通信機能の麻痺、長期停止
5	経済活動（サプライチェーンを含む）を機能不全に陥らせないこと	5-1	本町の基幹産業である観光・農業における経済活動の停滞
		5-2	サプライチェーンの寸断等による企業の経済活動の停滞
		5-3	基幹的陸上交通ネットワークの機能停止
		5-4	食料等の安定供給の停滞
6	生活や経済活動に必要な公共インフラを確保するとともに、早期復旧を図ること	6-1	電力復旧ネットワークや石油・LPガスサプライチェーンの機能停止
		6-2	上水道、下水道の長期間にわたる機能停止
		6-3	地域公共交通ネットワークが分断する事態
7	二次災害の発生を防御すること	7-1	ため池、ダム、防災施設等の損壊・機能不全による二次災害の発生
		7-2	有害物質等の大規模拡散・流出
		7-3	農地・森林等の荒廃による被害の拡大
8	地域社会、地域経済が迅速に復旧、復興できる条件を整備すること	8-1	大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞等により、復旧・復興が大幅に遅れる事態
		8-2	道路橋りょう等の復旧・復興を担う人材（専門技術者、労働者、ボランティア等）の不足により復旧、復興が大幅に遅れる事態
		8-3	地域コミュニティの崩壊、治安の悪化等により復旧・復興が大幅に遅れる事態

※ ゴシック：優先的に取り組む施策に係るリスクシナリオ（第4章参照）

